54【ゴマダラチョウ】樹液を吸いに飛来した
（2013年7月12日：林試の森公園）

53【アカボシゴマダラ】人の手で放された中国原産の外来種
（2013年7月16日：菅刈公園）

44【コミスジ】近年区内でもよく見られるようになった
（2010年8月26日：駒場野公園）

28【ムラサキツバメ】サザンカの花で吸蜜
（2004年11月3日：駒沢オリンピック公園）

になりました。クスノキやケヤキなどの樹木の梢や、周辺を独自のリズムでのはばたきと滑翔をしたり葉の上に止まったりします。年 2〜3 回発生する幼虫はフジやクズの葉で育ち、落ち葉の間などで越冬します。

●ムラサキツバメは南方系のチョウで、私が区内で初めて見たのは 2002 年の秋にサザンカの花に吸蜜に来ていたときでした。その後、年ごとに多くなり、都立駒沢オリンピック公園では、7〜8 月の日没前に 30 頭くらいがつぎつぎと目の前に現れて追飛するのを見ました。

　夕方の薄暗くなりはじめた頃に、すばしこく不規則に飛ぶためになかなか採集できませんでしたが、何頭かは標本にしたものが中目黒公園に展示してあります。ムラサキツバメが多くなったのは、“ 本州の夏の暑さは奄美大島並み „ と言われる程に暑いことと、幼虫の食樹となるマテバシイが、公園や街路樹として広く植栽されるようになったことが考えられます。成虫で越冬しますが、区内で数頭がまとまって越冬しているところはまだ記録されていないと思われます。

●ガについてもいくつかの思い出があります。私が都立駒場高校に通学していたのは 1951 年頃でしたが、校庭のモクセイの木に奇怪な角を何本も持ったイボタガの幼虫がたくさんいました。イボタガは大型のガで、4 月頃に羽化のあとすぐに産卵し、6 月頃には老熟幼虫になって土に潜って蛹になることが知られています。30 年位前に東が丘の近所の塀に、イボタガが静止しているのを見たことがありましたが、その家は新しい家だったので庭を造るときに、植木と共に蛹が土と一緒に搬入されたのではないかと思いました。

●これも東が丘に居た頃のことですが、近くの家の道路に面したアカマツの枝の下に、幼虫の糞が落ちていたので枝を探したところ、マツの葉柄に擬態したクロスズメの幼虫を見つけました。

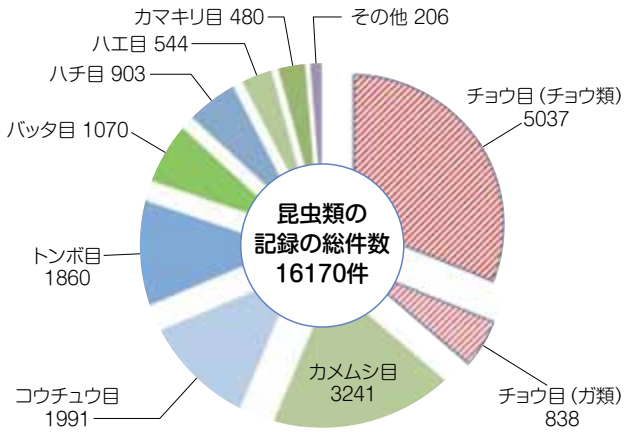
●コエビガラスズメは、高地にいる種類として知られていましたが、20 年位前から区内の住宅地でも普通にみられるようになりました。

　この幼虫もクロスズメと同様に、生け垣の下に幼虫の糞が落ちていて、イヌツゲやユキヤナギなどの低い枝を探すとピンク色の斜線模様のある幼虫が見つかります。クロスズメもコエビガラスズメも、多くの幼虫が見つかる割には成虫を見ることができません。おそらく夜に活動するためだろうと思います。

久保　快哉
（日本自然保護協会自然観察指導員･中目黒公園いきもの池原っぱクラブ ネイチャーリーダー）

記録件数の多いチョウ類

（単位：件）



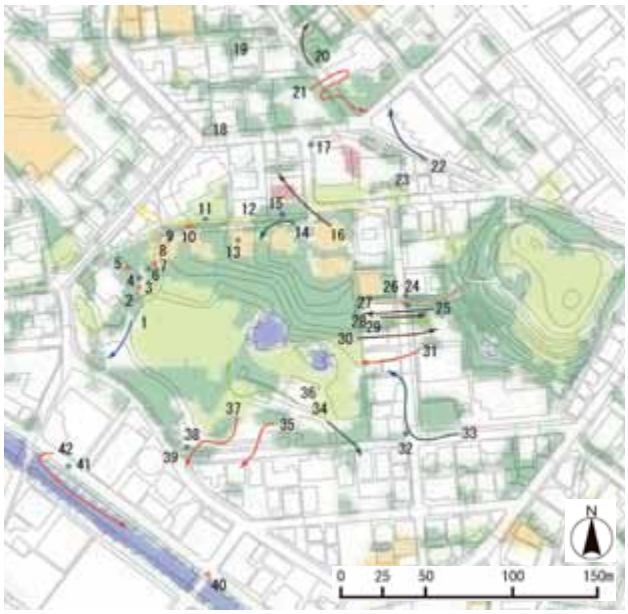
原っぱの虫採りイベント（中目黒公園）

目黒区のみどりのようす（碑文谷周辺）

（2014年目黒区みどりの実態調査より）

樹木　草地　屋上緑地　農地　裸地　水面

チョウの道の調査（2013年8月27日：菅刈公園）※01－21



［上図凡例］

- イチモンジセセリ
- ジャコウアゲハ
- アオスジアゲハ
- ナミアゲハ
- クロアゲハ
- ナガサキアゲハ
- キタキチョウ
- モンシロチョウ
- ヤマトシジミ
- アカボシゴマダラ
- ゴマダラチョウ
- コミスジ

記録の少ないチョウ

31【アカシジミ】
（2013年5月2日林試の森公園）

1【アオバセセリ】
（1998年8月8日駒場野公園）

生物多様性普及イベントで昆虫標本を見る親子

いきものの道づくり

●目黒区の環境とチョウ

目黒区全域に広がる住宅地には、大小さまざまな緑地が見られます。庭木として多種の樹木が植えられた植え込み、花壇や菜園、草地のほか、地面の乾湿や日照の差異など、身近な生物の生息する多様な環境が形成されています。また、鎮守の森と呼ばれ古くから伝わる社寺林や目黒川などの崖線に残る帯状の樹林、公園や大学構内などのまとまった拠点となる緑地が「みどりの島（緑島）」のように点在し、庭や屋上などに新しく作られる緑地とともに、大小の「みどり」が「モザイク状」にまち全体に分布していることが、目黒区のみどりの特徴です〔P. 6〕。チョウは、花壇や野草の花の蜜や幼虫の食べる植物などを求め、人間生活と関わりながらこのような「モザイク状のみどり」を利用し区内全域に生息しています。10ha を超える緑地には、東京大学（駒場キャンパス：駒場 3）、防衛省防衛研究所（中目黒 2）、東京工業大学（大岡山キャンパス：大岡山 2）がありますが、いずれも区の周辺部に偏在しています。

［主な観察地］

駒場野公園：旧東京教育大学（駒場 2）、駒場公園（駒場 4）、西郷山公園（青葉台 2）、菅刈公園（青葉台 2）、東山公園（東山 3）、目黒天空庭園（大橋 1）、目黒区総合庁舎屋上目黒十五庭（上目黒 2）、目黒川船入場（中目黒 1）、中目黒公園（中目黒 2）、都立林試の森公園：旧林業試験場（下目黒 5）、清水池公園（目黒本町 2）、すずめのお宿緑地公園（碑文谷 3）、碑文谷公園（碑文谷 6）、中根公園（中根 2）、めぐろ区民キャンパス公園（八雲 1）、衾町公園（八雲 5）、都立駒沢オリンピック公園（東が丘 2）など

※立ち入りや採集の禁止など管理者によるルールは守りましょう

（ ）内は町名と丁目です

●観察記録が多いチョウ類

目黒区いきもの住民台帳の総記録件数は 2015 年末で 66,678 件で、このうち鳥類の 21,957 件（33%）に次いで昆虫類は 16,170 件（24%）となっています。さらに昆虫類の中でみると、チョウ類は計 5,037 件で 31%を占め、一番観察記録の多い分類となっています〔P. 6 図〕。種数は、チョウが 61 種、ガは 259 種でガがチョウの 4 倍以上となっています。ガは種数が多いのですが、記録数は少なくなっています。チョウは、多くの区民の方からの報告や、調査を記録した文献等があることも特徴で、区民の目に留まりやすく親しみやすい身近ないきものの代表となっています。

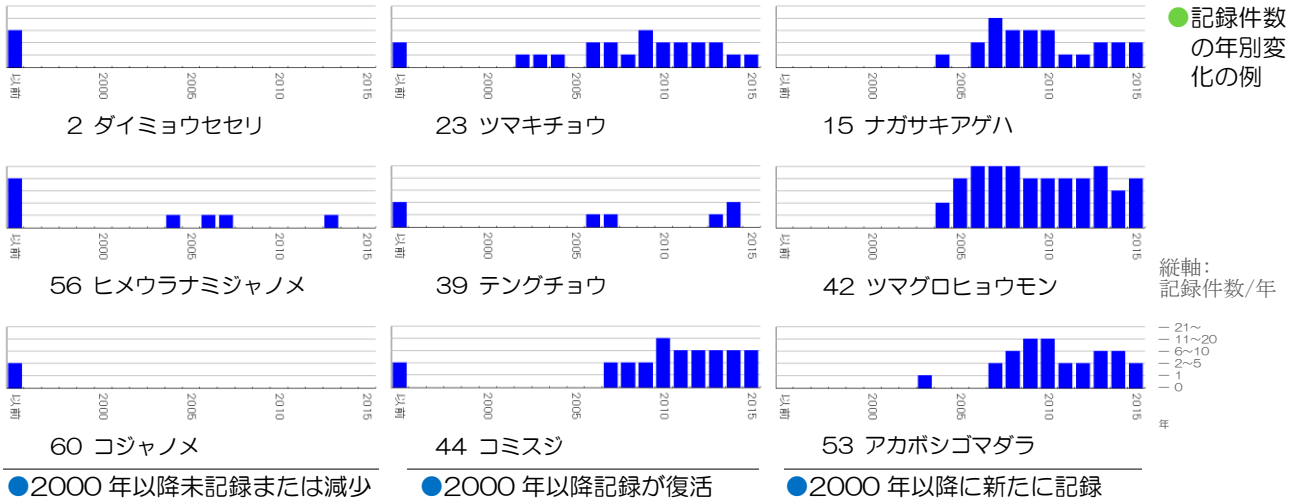
●「いきものの道」　エコロジカルネットワークづくり

菅刈公園のチョウ類の移動調査の結果〔P. 6〕では 12 種のチョウが、園内の林の縁に沿って移動しているようすや、近接する西郷山公園との間で行き交うようす、また周辺の住宅地との行き来などが観察されました。決まったコースを行き来しているように見える『チョウの道』があるようです。目黒区生物多様性地域戦略では、公園や学校、社寺林など、拠点の緑地から庭やベランダの一鉢のみどりまで、土の面や花やみどりを伝ってチョウなどの身近ないきものが行き来できる「いきものの道」（エコロジカルネットワーク）の形成を目指しています。

●身近なチョウの世界から環境の変化を知る

チョウの記録を見ると、毎年記録があるものからほとんどないものまでいろいろです。中にはダイミョウセセリのように以前は多かったのに近年減少しているものや、ナガサキアゲハのように逆に新たに記録されるもの、ツマキチョウのように復活？してきているものがあります。また、国や東京都が絶滅のおそれのある種に指定をしている種も目黒区で記録されています〔P. 32〕。

区の調査では、確実な記録として残すために写真のほか標本作成を行い、展示等にも活用しています。



●年代・年別の記録

	和名		1940～50	1970	1980	1990	2000年代															
	科	種	年代※	年代	年代	年代	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
1	セセリチョウ科	アオバセセリ	－			○																
2		ダイミョウセセリ	普通	◎	●	○																
3		ミヤマセセリ	少ない																			
4		コチャバネセセリ	少ない			○																
5		キマダラセセリ	やや少ない		●	◎	○	○	○	○	●	○		◎	○	○	●	●	◎	●		◎
6		オオチャバネセセリ	やや多い			○																
7		チャバネセセリ	普通		○		○	○	◎	◎	●			◎		●	●		○	●		●
8		イチモンジセセリ	やや多い		■	■	◎	○	●	◎	●	●	○	●	●	■	■	●	●	■	●	■
9	アゲハチョウ科	ホソオチョウ	－														○					
10		ジャコウアゲハ	少ない	○					○							◎	○		◎	●	●	
11		キアゲハ	やや少ない	○	●	●	○	◎	◎	●	■	●	○	●	●	■	◎		■	●	■	●
12		ナミアゲハ	やや多い	●	■	■	◎	○	●	◎	■	●	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
13		クロアゲハ	普通	●	■	■	◎		●	●	■	●	●	■	■	■	■	●	■	■	■	■
14		オナガアゲハ	稀																			
15		ナガサキアゲハ	－								○		●	■	●	■	■	○	◎	●	●	●
16		モンキアゲハ	－	◎	○						○					●				○		○
17		カラスアゲハ	やや少ない		●	●	○	●		◎	●			○	●	■		○	○	◎	●	○
18		ミヤマカラスアゲハ	－																			
19		アオスジアゲハ	普通	◎	●	■	○	○	●	●	■	●	●	■	■	■	■	■	■	■	■	■
20	シロチョウ科	キタキチョウ	やや多い	◎	●	●	◎	○	●	●	●	●	■	■	●	■	■	■	●	■	■	■
21		ツマグロキチョウ	普通	○													○					
22		モンキチョウ	やや多い	○	■	●	○		●	○	●	◎		■	◎	●	●	○	●	●	◎	■
23		ツマキチョウ	少ない	○					○	○	○		●	●	○	●	◎	●	●	●	◎	◎
24		モンシロチョウ	やや多い	●	■	■	○		●	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
25		スジグロシロチョウ	やや多い	◎	■	●				○	■		○	●	◎	■	●					
26	シジミチョウ科	ゴイシシジミ	普通			○																
27		ウラギンシジミ	稀	●	●	●	○		●	●	●	◎	◎	■	●	●	◎	◎	◎	●	◎	●
28		ムラサキツバメ	－				○		◎	◎	○			●	●	●	○					○
29		ムラサキシジミ	稀			○	○		●	●	●			◎	●	○	○	●		○		○
30		ミズイロオナガシジミ	稀		○	●	○				○						○	◎				
31		アカシジミ	稀																	○		
32		トラフシジミ	－		○						○					○		○			○	
33		ベニシジミ	普通	○	■	●	○			○	●	◎	◎	◎		●	●	○	◎	●	●	○
34		ウラナミシジミ	普通	●	●	●	●		●		●			●	○	●	●	◎	◎	●		○
35		ヤマトシジミ	普通	●	■	■	◎	◎	◎	◎	●	●	◎	■	◎	■	■	■	■	■	■	■
36		ツバメシジミ	普通	○	●	●		○			○	○					●		◎	●	◎	○
37		ルリシジミ	やや少ない		●	◎	●	◎	●	●	●			●			○			○	○	
38		クロマダラソテツシジミ	－													○						
39	タテハチョウ科	テングチョウ	稀		○	○							○	○						○	●	
40		アサギマダラ	－		○	◎					◎		●		●	●	◎			○		○
41		ミドリヒョウモン	－		●	○		○				○	○		○					◎		◎
42		ツマグロヒョウモン	－								●	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
43		イチモンジチョウ	少ない																			
44		コミスジ	やや多い	○		○								●	●	■	■	■	■	■	■	●
45		ミスジチョウ	稀																			
46		フタスジチョウ	－																			
47		キタテハ	やや多い	●	■	■	●		●	○	●		◎	●	●	●	●	◎	●	●	■	●
48		ヒオドシチョウ	やや少ない										○									
49		ルリタテハ	やや少ない	●	●	●		◎	●	●	●	●	●	●	●	■	●	●		●	●	○
50		アカタテハ	やや多い		●	●	◎		●	○		○	●	○	○	○		◎	○		◎	
51		ヒメアカタテハ	普通		●				○	○	●	●		◎	◎	◎		○			○	
52		コムラサキ	少ない													◎		○				
53		アカボシゴマダラ	－							○				●	■	■	■	●	●	■	■	●
54		ゴマダラチョウ	普通	●	■	●	●	○	◎	◎	●	●	●	●	■	●	●		●	■	●	◎
55		オオムラサキ	稀																			
56		ヒメウラナミジャノメ	普通		■						○		○	○						○		
57		ヒカゲチョウ	普通			○			●		●				○		○	○			◎	○
58		サトキマダラヒカゲ	やや多い	○	■	●	○	○	●	◎	●	○	○	●	●	●	■	●	◎	●	■	◎
59		ヒメジャノメ	やや多い		●	●	○	○	○	◎	●	○	◎	○	●	■	■	●	●	◎	■	●
60		コジャノメ	少ない																			
61		クロコノマチョウ	－									○		○		◎		○				
		種数 計	47	23	33	35	24	16	26	27	35	22	25	34	31	37	35	30	27	35	30	32

年記録件数　○：1件　◎：2件　●：3～9件　■：10件以上　※1947年4月～1950年10月の駒場での記録（※01－01）

●リストについて

１）基本リスト

目黒区※が保有する自然環境調査等に関する記録をデータベース化し、2009 年に区のホームページなどで公開した「目黒区いきもの住民台帳暫定版」を基本データとし、チョウ目のリスト部分を 2015 年までの記録を加えて更新したものです。種の同定資料がないために従前の記録から削除したものがあります。本冊子では、チョウとガにリストを分けました。

分類の表現は、界(かい)―門(もん)―綱(こう)―目(もく)―科(か)とし、学名は、属名と種小名までとしました。分類等については次の資料を基にしました。

［チョウ］　日本産蝶類和名学名便覧(猪又敏男・植村好延・矢後勝也・上田恭一郎・神保宇嗣)[R-1]

［　ガ　］　List-MJ 日本産蛾類総目録 version 2 (神保宇嗣) [R-2]

２）集計データ

データは目黒区が専門機関に委託して行う自然環境調査などの結果や、区民参加調査(自己調査:自然通信員〔表紙 3､4〕による身近な生きもの調査など区民が庭や公園などで自主的に行う活動)、駒場野公園自然観察舎や中目黒公園花とみどりの学習館による定点調査、公園活動登録団体や小学校のビオトープ調査活動、いきもの発見隊や駒場野自然クラブなど公園等で行う観察会などのイベント型調査での記録によるものです。さらに、自治体や民間機関などの調査報告書、団体のニュースレター、出版物などの文献・資料から得られる目黒区での記録も対象としています。資料調査では、和名、学名、科名、目名を元資料の表記から、新しい表記に変更したものがあります。

集計期間は 2015 年 12 月 31 日までの記録です。登録されている記録件数はチョウ 5037 件、ガ 838 件、合計 5875 件です(シロチョウ類、キチョウ類など種の特定できない記録も含む)。

対象区域は、目黒区内ですが、他区にまたがる公園(都立林試の森公園の品川区区域、都立駒沢オリンピック公園・東山公園の世田谷区区域)等は施設全域を対象区域にしました。

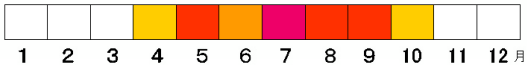
３）観察地点図・観察月バー(チョウのみ)

観察地点図は、観察記録の分布状況を把握する参考にしてください。図上の点は隣接する複数の街区(○丁目○番)を集約して表示しており、実際の観察地点とずれる場合があります。また調査の性格上、表示のない場所に種が分布していないことを示すものではありません。

４）観察月バー

観察記録を月ごとに集計し、記録件数によって濃淡をつけてあります。成虫や幼虫等の別はありません。

観察月バー



５）リストの凡例

ア　希少種〔P. 32〕
国:環境省第 4 次レッドリスト [R-3]
都:東京都の保護上重要な野生生物種本土部 [R-4]

イ　外来種
我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト [R-5]

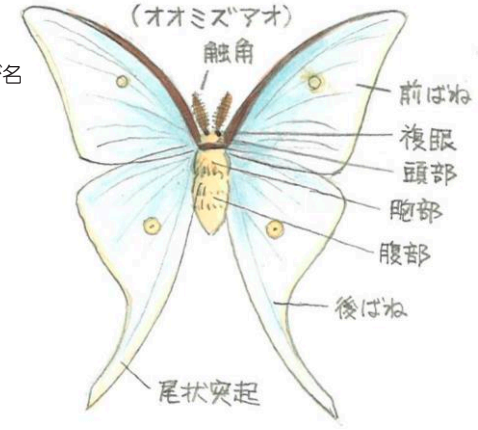
ウ　観察頻度　2000～2015 年の記録件数の合計で、次のように判定しています
多＝記録件数 150 件以上　**普通**＝50～149 件
少＝10～49 件　**まれ**＝0～9 件

エ　**【記録】**　観察記録の内容です。件数は、登録されている記録のうち観察年または観察年代(10 年単位)がわかる記録を抽出した件数、( )内は、2000 年以降の抽出件数です。
○は観察記録の例示です。一番古い記録、成虫の観察月の早いもの遅いもの、幼虫の記録など種の特性を表すものなどを選択しています。文中の観察地は町名(施設名)です。公園等の施設の所在地は P. 7 を参照してください。観察地の後の数字は個体数です。5+は観察個体数が最低でも 5 頭以上、5-個体数が 5 頭以下を表します。
※は、引用した資料の番号〔表紙 3〕です。資料からの転記に際して内容を一部要約しています。なお、ガのリストは最新観察記録の年と場所のみの記載です。

オ　用語、略号
食草:幼虫が食べる植物(木も含む)の種(しゅ)
♂:オス　♀:メス
成虫:さなぎから羽化した後の蝶や蛾の状態
幼虫:卵からかえった後のいも虫や毛虫の状態
脱皮回数により 2 齢(れい)、終齢(しゅうれい)等と呼びます
季節型(**春型・夏型・秋型**など):発生する季節により模様や大きさが異なる成虫の型
体の呼び名(下図)

６）目黒区の生物を調べるときは市販の図鑑のほか、身近な生物を紹介した小図鑑『めぐろのいきもの 80 選(目黒区発行)』〔表紙 4〕をご活用ください。

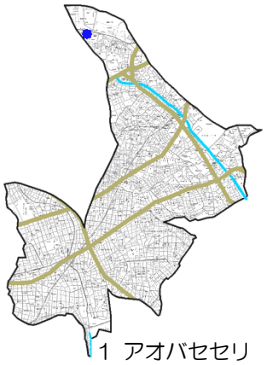
体の呼び名

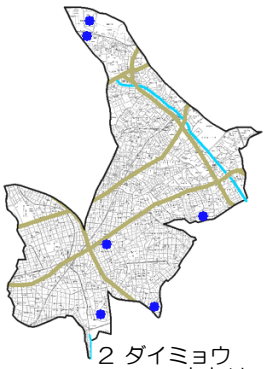


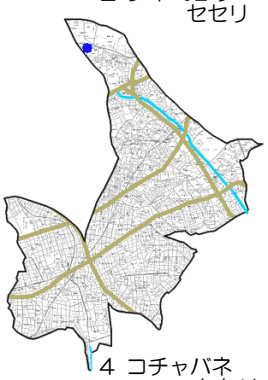
※目黒区都市整備部みどり土木政策課

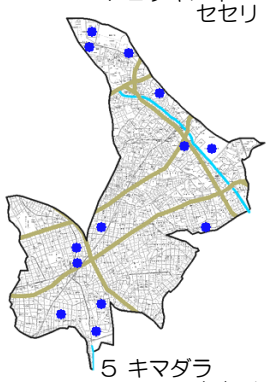
●目黒区の蝶リスト

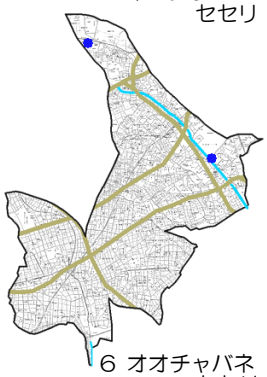
動物界（どうぶつかい） ANIMALIA—節足動物門（せっそくどうぶつもん） ARTHROPODA—昆虫綱（こんちゅうこう） INSECTA—チョウ目（もく） LEPIDOPTERA


1 アオバセセリ


2 ダイミョウセセリ


4 コチャバネセセリ

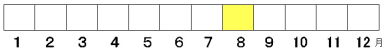

5 キマダラセセリ


6 オオチャバネセセリ

■セセリチョウ科　HESPERIIDAE

1 アオバセセリ　*Choaspes benjaminii*

まれ 食草:アワブキなど【記録】1 件(2000 年以降 0 件) ○1998 年 8 月 8 日 駒場野公園 1 水田脇 駒場野自然クラブ活動



2 ダイミョウセセリ　*Daimio tethys*

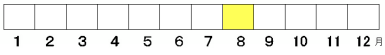
まれ 以前は区内各地で見られたが、2000 年代は記録がない 食草:ヤマノイモなど【記録】7 件(2000 年以降 0 件) ○1947～1950 年 旧教育大学農学部附属中学校付近※05-01 ○1973 年 7 月 16 日 大岡山 1 ○1976 年 7 月 駒場公園 1 ヒメジョオン訪花 ○1982 年 5 月 10 日 洗足(児童遊園工事前) 1※01-01 ○1983 年 5 月 12 日 碑文谷 1※01-02 ○1983 年 7 月 14 日 林試の森暫定開放時代 1 ワカバグモに捕わる ○1995 年 5 月 18 日 大岡山 1

3 ミヤマセセリ　*Erynnis montana*　**東京都区部:絶滅**

まれ 食草:クヌギなど【記録】1 件(2000 年以降 0 件) ○1947～1950 年 旧教育大学農学部附属中学校付近で少数が見られた※05-01

4 コチャバネセセリ　*Thoressa varia*

まれ 食草:ササ類など 【記録】2 件(2000 年以降 0 件) ○1947～1950 年 旧教育大学農学部附属中学校付近で少数が見られた※05-01 ○1996 年 8 月 18 日 駒場野公園 葉上 1 駒場野自然クラブ活動



5 キマダラセセリ　*Potanthus flavus*

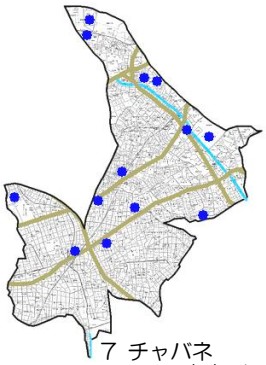
少 食草:イネ類など【記録】44 件(2000 年以降 0 件) ○1947～1950 年 旧教育大学農学部附属中学校付近でやや少なく見られた※05-01 ○1982 年 8 月 21 日 旧教育大学跡地 1※01-02 ○1983 年 6 月 9 日 旧林業試験場跡地 アカツメクサに訪花 ○1986 年 6 月 22 日 駒場野公園 1 駒場野自然クラブ活動※01-04 ○1998 年 6 月 16 日 緑が丘(緑ケ丘小学校) 1 ビオトープ活動※02-05 ○2000 年 8 月 19 日 柿の木坂 1 ○2004 年 6 月 12 日 東京工業大学 5+ ヒメジョオン訪花 ○2010 年 10 月 17 日 西郷山公園 2※02-08 ○2010 年 11 月 5 日 柿の木坂(呑川柿の木坂支流緑道) 1 ダルマギク訪花。遅い記録。第 3 化があったと考えられる ○2011 年 9 月 9 日 駒場野公園 1 標本※01-18 ○2013 年 8 月 28 日 菅刈公園 1※01-21 ○2015 年 9 月 26 日 碑文谷公園 1

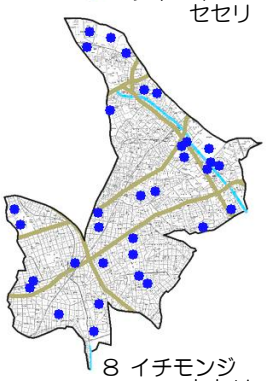
6 オオチャバネセセリ　*Polytremis pellucida*

まれ 食草:ササ類など【記録】2 件 ○1947～1950 年 旧教育大学農学部附属中学校付近でやや多く見られた※05-01 ○1995 年 三田(目黒清掃工場)※03-04

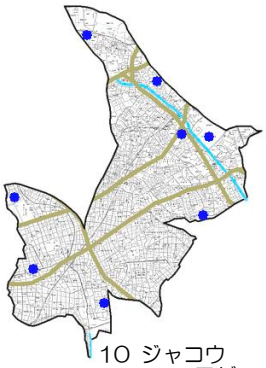
7 チャバネセセリ　*Pelopidas mathias*

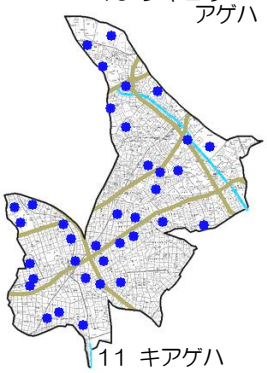
少 食草:チガヤなど【記録】35 件(2000 年以降 33 件) ○1947～1950 年 旧教育大学農学部附属中学校付近※05-01 ○1982 年 9 月 4 日 碑文谷 1 ノハラアザミ訪花 ○2000 年 10 月 12 日 柿の木坂 1 頭○2002 年 10 月 30 日 中目黒公園 2 標本 ○2004 年 8 月 10 日 碑文谷公園 1 花の公園。訪花 ○2004 年 9 月 10 日 都立林試の森公園 1 鳥のフンを自分の尿で溶かして吸う ○2007 年 10 月 11 日 都立駒沢オリンピック公園。ハギの群落で多数が吸蜜○2009 年 5 月 14 日 都立駒沢オリンピック公園 ♂2 採集 ○2010 年 10 月 15 日 菅刈公園 5※02-08 ○2013 年 8 月 28 日 菅刈公園 1※01-21 ○2015 年 10 月 14 日 五本木(五本木小学校) 1+※01-25 ○2015 年 10 月 14 日 中央町(鷹番小学校)1+※01-25 ○2015 年 10 月 28 日目黒川船入場


7 チャバネセセリ


8 イチモンジセセリ

9 ホソオチョウ


10 ジャコウアゲハ


11 キアゲハ

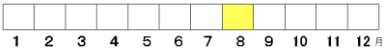
8 イチモンジセセリ　*Parnara guttata*

普通 秋季大群が見られることがある 食草:イネなど【記録】144 件(2000 年以降 113 件) ○1947～1950 年 旧教育大学農学部附属中学校付近でやや多く見られた※05-01 ○1981 年 9 月 旧教育大学跡地 1 アカツメクサ訪花※01-01 ○1997 年 5 月 18 日 駒場野公園 1 いきもの発見隊活動 ○1998 年 9 月 17 日 目黒(田道小学校) 1 ビオトープ活動※02-05 ○1998 年 9 月 17 日 緑が丘(緑ケ丘小学校) 1 ビオトープ活動※02-05 ○2000 年 8 月 柿の木坂 ○2004 年 8 月 10 日 碑文谷公園 花の公園。訪花 ○2005 年 8 月 7 日 駒場野公園 水田イネ。夜、幼虫が出てくる 駒場野自然クラブ活動 ○2007 年 10 月 11 日 都立駒沢オリンピック公園 ハギの群落で多数が吸蜜 ○2009 年 9 月 25 日 中目黒 3 丁目庭 ○2010 年 8 月 17 日 菅刈公園 10※02-08 ○2011 年 9 月 9 日 駒場公園 1 標本※01-18 ○2011 年 9 月 13 日 八雲(宮前小学校) 1 ビオトープ活動 ○2012 年 4 月 15 日 駒場野公園 1 ○2013 年 9 月 14 日 中目黒公園 原っぱで複数を目撃 ○2013 年 11 月 20 日 中目黒公園 1 ○2015 年 8 月 19 日 碑文谷(碑小学校) 1+※01-25 ○2015 年 8 月 19 日 緑が丘(緑ケ丘小学校) 1+※01-25 ○2015 年 10 月 14 日 青葉台(菅刈小学校) 1+※01-25 ○2015 年 10 月 14 日 中目黒(中目黒小学校) 1+※01-25 ○2015 年 10 月 15 日 原町(原町小学校) 屋上 1+※01-25

■アゲハチョウ科　PAPILIONIDAE

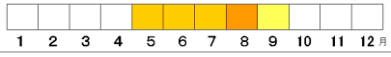
9 ホソオチョウ　*Sericinus montela*　総合･重点対策外来種(国外由来)

まれ 食草:ウマノスズクサ 【記録】1 件(2000 年以降 1 件) ○2010 年 8 月 26 日駒場野公園 1※01-17



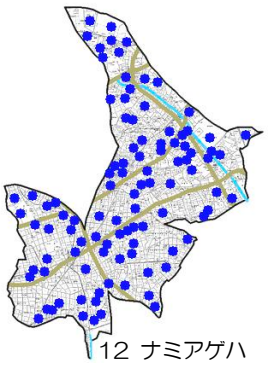
10 ジャコウアゲハ　*Atrophaneura alcinous*

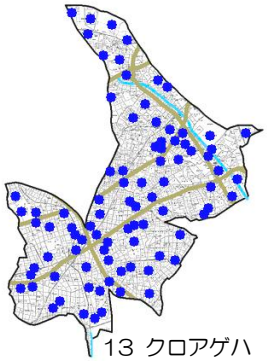
少 2000 年代以降記録が多くなった 食草:ウマノスズクサなど 【記録】23 件(2000 年以降 20 件) ○1940 年 下目黒「相当多数。この付近で…毎年発生する…」と記述※05-03 ○1947～1950 年 旧教育大学農学部附属中学校付近で少数が見られた※05-01 ○1971 年 目黒区内※05-02 ○2002 年 9 月 18 日 都立駒沢オリンピック公園 ♂1 葉上 ○2009 年 7 月 11 日 八雲 ○2009 年 8 月 8 日 中目黒 1 飛来 ○2010 年 8 月 17 日 駒場野公園 2※02-08 ○2012 年 5 月 12 日 中目黒公園 ♂1 ビオトープ周辺。花とみどりの学習館に標本展示 ○2012 年 6 月 30 日 中目黒公園 幼虫 1 ○2013 年 6 月 27 日 都立林試の森公園 1 葉上 ○2013 年 8 月 2 日 大岡山 ♀1 頭 低いところをひらひら飛ぶ ○2013 年 8 月 28 日 菅刈公園 1※01-21 ○2014 年 5 月 3 日 駒場野公園 1 ○2014 年 7 月 15 日 駒場野公園 2 標本※01-24 ○2014 年 7 月 15 日 都立林試の森公園 1※01-24 ○2014 年 8 月 23 日 駒場野公園 1

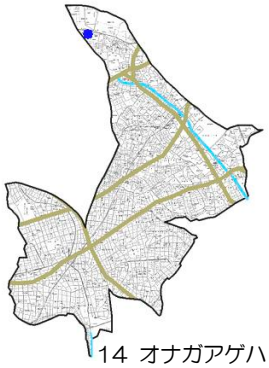


11 キアゲハ　*Papilio machaon*

普通 食草:セリ、アシタバなど【記録】101 件(2000 年以降 88 件) ○1947～1950 年 旧教育大学農学部附属中学校付近でやや少なく見られた※05-01 ○1986 年 8 月 6 日 目黒川 ♂1 田楽橋下河床でアゲハ 2 とともに吸水 ○1988 年 5 月 1 日 駒場野公園 産卵 駒場野自然クラブ活動 ○2000 年 9 月 8 日 柿の木坂♀1 ○2002 年 4 月 中目黒公園 イタリアンパセリなどに幼虫。子孫を残すために懸命に食草を探し飛来したと思われる ○2006 年 5 月 6 日 碑文谷♂1♀1 パセリに産卵 ○2007 年 8 月 3 日 東が丘 7+ 1 齢幼虫がアシタバに○2009 年 4 月 15 日 大橋 1 羽化 ○2009 年 9 月 30 日 八雲 幼虫 1 パセリを食べる。10 月 23 日には、コンクリート面でさなぎになる ○2010 年 5 月 8 日 中目黒公園 アシタバの葉に産卵。葉上に 1 齢幼虫多数 ○2013 年 10 月 8 日 中目黒公園 1 ○2014 年 5 月 8 日駒場野公園 1 ※01-24○2015 年 7 月 11 日中央町(鷹番小学校) 1

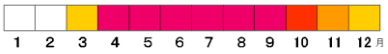

12 ナミアゲハ


13 クロアゲハ


14 オナガアゲハ

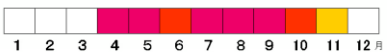
12 ナミアゲハ　*Papilio xuthus*

多 食草:サンショウなど【記録】388 件(2000 年以降 318 件) ○1937 年 6 月 16 日 林業試験場(農商務省目黒苗圃)時代※05-03 ○1947～1950 年 旧教育大学農学部附属中学校付近でやや多く見られた※05-01 ○1976 年 8 月 下目黒 ♀1 青木昆陽墓付近のカラタチに産卵※01-01 ○1982 年 6 月 29 日 旧教育大学跡地 ニンジンボクの花で吸蜜 ○1986 年 4 月 27 日 駒場野公園 駒場野自然クラブ活動※01-04 ○2000 年 6 月 6 日 碑文谷(円融寺) サツキ訪花 ○2004 年 4 月 18 日 柿の木坂(呑川柿の木坂支流緑道) 1 初見。春型 ○2004 年 5 月 10 日 五本木 小さな春を見つけた ○2004 年 6 月 25 日 碑文谷 下ばねがブルーに光り、紅色の輪がとても美しい ○2006 年 3 月 1 日 中町 1 植木鉢にさなぎ ○2006 年 4 月 18 日 柿の木坂 初見 ○2006 年 8 月 8 日自由が丘 ♂1♀1 交尾を観察 ○2007 年 5 月 12 日 中目黒公園 カボスの若葉に卵と若齢幼虫を数頭確認 ○2007 年 6 月 15 日 中目黒(中目黒小学校) ♀1 ビオトープ予定地のミカンを訪れる ○2007 年 6 月 16 日 東が丘 1 夏型の初認 ○2007 年 7 月 25 日 洗足 1 葉に止まり夜を迎える ○2007 年 8 月 3 日 柿の木坂 幼虫 1 頭 鉢植えのタチバナ(右近の橘)の葉を食べる ○2007 年 11 月 24 日 自由が丘 幼虫 10+ キンカン葉上 ○2010 年 6 月 12 日 中目黒公園 自然観察会。夏型初見 ○2010 年 8 月 1 日 駒場野公園 19:10 頃、水田脇土手の茂みの葉上ではねを広げて休む 駒場野自然クラブ活動 ○2011 年 4 月 30 日 大橋 ベランダで越冬したさなぎが 5 頭羽化 ○2011 年 9 月 13 日 八雲(宮前小学校) ビオトープ活動 ○2011 年 10 月 12 日 五本木(上目黒小学校) 2 ビオトープ活動 ○2012 年 5 月 1 日 南 グレープフルーツの木に飛来 ○2012 年 10 月 4 日 中央町(鷹番小学校) 2 ビオトープ活動 ○2013 年 7 月 14 日 大岡山 1 卵。ミカンの葉上 ○2013 年 7 月 16 日 目黒天空庭園 1 アベリア訪花○2014 年 11 月 29 日 下目黒 1 遅い記録 ○2015 年 4 月 22 日碑文谷(第八中学校) 1



13 クロアゲハ　*Papilio protenor*

多 食草:ユズなど【記録】282 件(2000 年以降 211 件) ○1947～1950 年 旧教育大学農学部附属中学校付近※05-01 ○1970 年 4 月 29 日 大岡山 1 初見 ○1982 年 4 月 7 日 自由が丘 ユズに産卵 ○1982 年 8 月 10 日 旧教育大学跡地 クサギ吸蜜※01-01 ○1997 年 5 月 18 日 駒場野公園 1 いきもの発見隊活動 ○1998 年 5 月 3 日 祐天寺 平塚幼稚園 ○1998 年 5 月 15 日 中目黒 サンショウに産卵 ○2002 年 8 月 24 日 中目黒公園 ヤブガラシやクサギを訪花 ○2005 年 8 月 1 日 下目黒 5 丁目 交尾 ○2006 年 5 月 11 日 中目黒 1 鉢植えの柑橘に産卵 ○2008 年 4 月 16 日 東が丘 1 自由通り。飛翔中を目撃 ○2008 年 4 月 25 日 清水池公園 1 ○2008 年 4 月 29 日 都立駒沢オリンピック公園 10+ ウバメガシの低い枝に黒い靴下を置くと強い関心を示しまとわりつくものもいた ○2008 年 6 月 12 日 中目黒 幼虫 3+ キンカン葉上 ○2009 年 8 月 13 日 中目黒 ♀1 産卵 ○2010 年 5 月 30 日 中目黒 ユズ、キンカン葉上に産卵 ○2011 年 9 月 17 日 すずめのお宿緑地公園 1 モウソウチクの切り株で吸水 ○2013 年 7 月 11 日 上目黒(伊勢脇公園) 1 ○2014 年 7 月 20 日 中目黒公園 2 親子虫採り教室 ○2014 年 11 月 15 日 下目黒 1 ○2015 年 5 月 20 日 中央町 1 テイカカズラの花に寄せられて ○2015 年 7 月 11 日 中央町(鷹番小学校) 1 ビオトープ活動 ○2015 年 10 月 14 日 五本木(五本木小学校) 1+※01-25



14 オナガアゲハ　*Papilio macilentus*　東京都区部:絶滅危惧Ⅰ類

まれ 食草:コクサギなど 【記録】1 件(2000 年以降 0 件) ○1947～1950 年 旧教育大学農学部附属中学校付近で稀に見られた※05-01

12 ナミアゲハ
タチバナの葉の上の幼虫(2007 年 8 月 3 日:柿の木坂)

15 ナガサキアゲハ ♀
(2012 年 9 月 4 日:林試の森公園)